

## 平成30年度 定期総会 開催

5月26日、狭山市立中央公民館にて平成30年度定期総会が開催されました。

板屋捷子副会長の司会で始まり、冒頭に小川忠史会長が「昨年度は他市の文化団体連合会との交流も多く、改めて当文団連が素晴らしい事業を行ってきたと感じました。今後も狭山市当局と協力して、狭山の文化活動推進を図っていききたい」と挨拶。来賓の小谷野 剛 狭山市長からは「オリンピックはスポーツの祭典であるが、同時に文化の祭典でもある。狭山市にも多くの来客を迎える事になる。お茶、七夕など文化の発信をしていきたい。また、狭山市在住の文化人の作品収集や展示に



小川会長の挨拶

力を入れていきたい」、続いて新良守克 狭山市議会議長は「ここ数年市議会においても、自分達で七夕の矢来飾りを製作しています。狭山の文化をPRし、文化都市狭山を目指していきたい」と挨拶されました。その他、来賓として小出泰弘 市民部部长、さらに奥富茂 市民部次長、市民文化課の中庭淑恵主幹、小澤秀紀主査にも参席いただきました。

定足数47人に対し、出席54人(うち委任状15人)で総会は成立。中内伊美子選任理事を議長に選出して議事に入り、まず平成29年度の事業報告、続いて決算・監査報告が拍手で承認されました。さらに、平成30年度の事業方針・重点項目・事業計画案と予算案が審議・承認され、全議案の審議が終了しました。

総会終了後に、市民部市民文化課から、今年度の市民文化課の取り組みについて説明があり、文団連は「文化の創造」面を担い、市民文化課では「文化の鑑賞」をキーワードとして市民文化の発展を目指していきたいとの抱負が述べられました。なお、今年度から小澤主査が「狭山の文化人を知ろう」プロジェクトに参加していただきます。



市民文化課の説明

### ●平成30年度役員・監査・顧問

会長：小川忠史                      副会長：板屋捷子・竹迫ミナミ                      会計長：張替絹子  
事務局長：岸野智子              常任理事：板倉 巧・小川豊子・中村伶華・能川堅弥・藤寿紫峰  
監査：村田昌弘・横山千枝子(美衣)              顧問：大野松茂・小高誠太郎

### ●平成30年度基本方針 生き生きとした文化人が狭山にあふれることを目標とする。また市および関係各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。

#### 重点項目

1. 渉外委員会を中心として、会員の拡大を推進する。
2. 所属団体の活性化を図る。
3. 狭山市の子どもの文化環境を豊かにする。
4. 自主事業の発展的継続を図る。
5. 狭山文化の掘り起こしと普及⇒「狭山の文化人を知ろう」プロジェクト活動を進める。